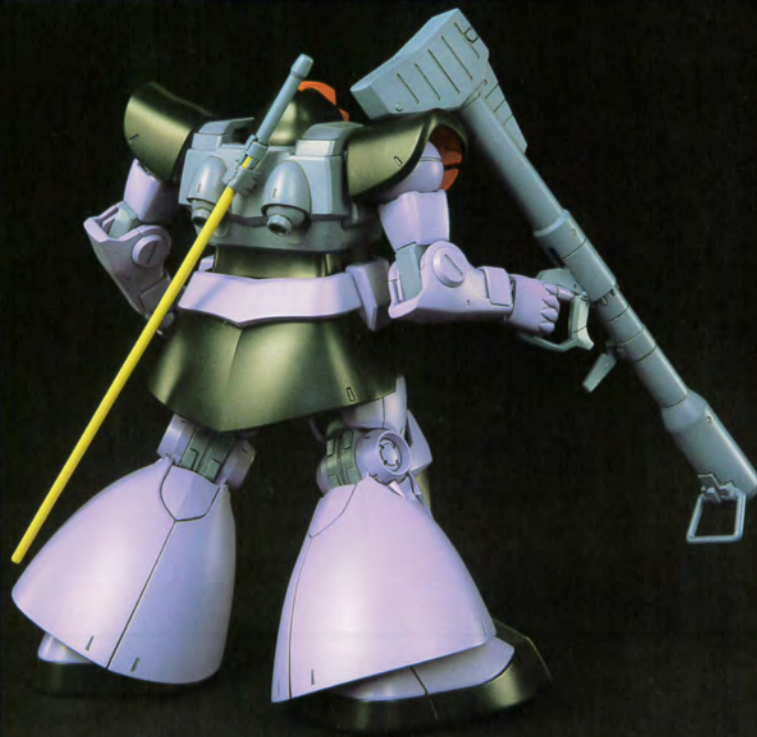


FRONT VIEW

フロントビュー REAR VIEW

リアビュー



# MS-09 DOM / MS-09R RICK-DOM

PRINCIPALITY OF ZEON FORCE MASS PRODUCTIVE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MS-09 (09R)  
 TOTAL HEIGHT : 18.6m  
 WEIGHT : 62.6t (43.8t)  
 TOTAL WEIGHT : 79.9t (78.6t)  
 GENERATOR OUTPUT : 1269kw (1199kw)  
 MATERIAL : SUPER HARD STEEL ALLOY  
 ARMAMENTS : GIANT BAZ  
 HEAT SABER  
 BEAM BAZOOKA

ACTION

アクションポーズ



## COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。  
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

●腕部、脚部等： パープル(70%) +ホワイト(30%)	●関節等： ホワイト(50%) +ブラック(30%) +コバルトブルー(20%) +レッド(少量)	●肩部、腰部等： ブラック(90%) +ミッドナイトブルー(10%)	●ビーム・バズーカ： ニュートラルグレー(90%) +ブラック(10%)	●武器等： ミディアムブルー(60%) +ニュートラルグレー(30%) +レッド(10%)	●モノアイガード等： モンザレッド(100%)	●拡散ビーム砲等： ホワイト(80%) +イエロー(20%)	●モノアイ等： ピンク(100%)
-------------------------------------	---	--	--	--	----------------------------	--------------------------------------	----------------------

1/144 SCALE

HG  
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2006 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は、塗装してあります。

0141037



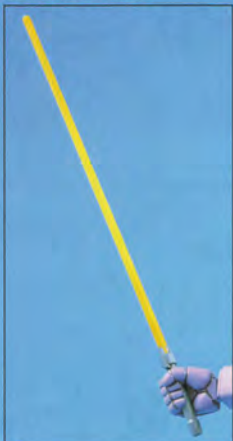


## MS-09 DOM

「ドム」および「リック・ドム」は、ツィマツ社が開発した量産MSである。地球優攻作戦展開当初、ジオン公国軍は重力下でも06型のザクの転用で充分だと考えていた。しかし、地球の環境やザクそのものの移動能力の低さなどの障害は、戦線が拡大するにつれて深刻な問題となっていったのである。そこで、かねてより提案されていた陸戦用の機体が開発されることとなった。やがてグフなどの輩出を経てC5型を基にした改造機のプランからYMS-09プロトタイプドムの開発が始まった。当初の計画では、湿地帯や沼沢地への投入も可能な純粋なホバークラフトユニットを装備した局地戦用MSとなる予定だったが、熱核推進システムの開発に実績のあるツィマツ社が高効率の熱核ジェットエンジンの開発に成功し、主推進装置は熱核ジェット/ロケットの複合システムが採用されることとなった。試作機はジオン本国で製造され、実働試験はカリフォルニア・ベースにおいて行われた。ツィマツ社によって導入された技術やコンセプトにはユニークなものも多く、ボディユニットにブロック構造を導入するなど、それまでに培われた技術が十分に盛り込まれていた。加えて整備性の

### ヒート・サーベル

白兵戦用の武器。サーベル部分が白熱化し、敵の機体を溶断する。発熱デバイスは高効率でエネルギーを熱に変えるが、消耗が激しく基本的に使い捨て。



### 背部パーニア

主に推進や機動時に使用される。リック・ドムのものは大型化され、フェアリングもそれに合わせて形状が変わっている。

## SPEC

型式番号：MS-09(O9R)  
全高：18.6m  
本体重量：62.6t(43.8t)  
全備重量：79.9t(78.6t)  
ジェネレーター出力：1269kw(1199kw)  
装甲材質：超硬スチール合金  
武装：ジャイアント・バズ  
ヒート・サーベル  
ビーム・バズーカ  
※( )内はリック・ドム

### ジャイアント・バズ

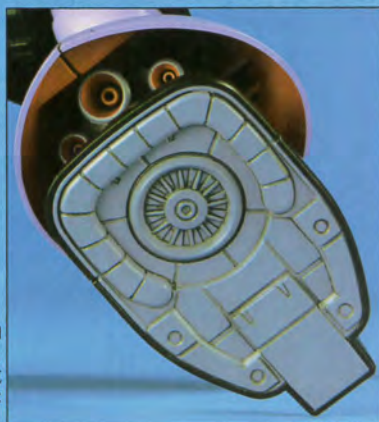
一年戦争時に使用されたMSの携帯用火器としては最大級360mm口径の実体弾砲。ドムおよびリック・ドムの代名詞ともなった武装だが、大戦末期にはドム以外の機体にも多用された。

### ホバー・ユニット

熱核ジェットによる足下のGSF (Ground Surface Effect=地表面効果)で機体を浮かせ、スカートやスノ部分のロケットで推進する。巡航速度は90km/h、最大戦闘時のトップスピードは240km/hに達する。

### コクピット

後の機体のスタンダードとなる「ダイレクトイン」と呼ばれる搭乗方式が採用されている。これにより前面装甲の泣き所であった搭乗ハッチが飛躍的に強化されたものの、砂漠や湿地帯の部隊からはコンソールが汚損しやすいなどの苦情もあった。

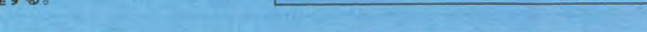
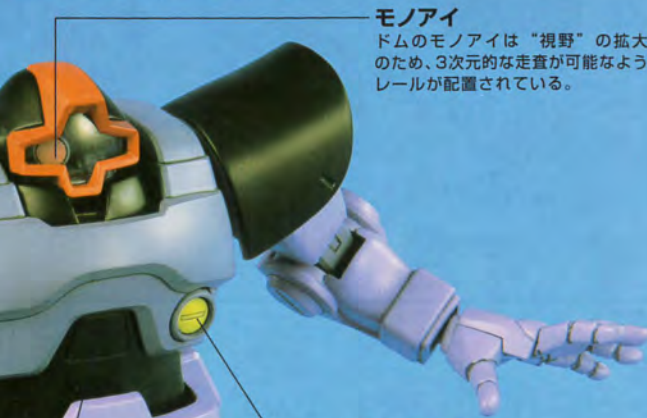


### モノアイ

ドムのモノアイは「視野」の拡大のため、3次元的な走査が可能なようレールが配置されている。

### 拡散ビーム砲

本来はビーム兵器を稼働させるためのエネルギーチャネルとして装備されていたが、十分な出力を得ることができなかったため、眩惑効果や威嚇用の短距離ビーム砲として使用されている。



## MS-09 ドム

「MS-09 ドム」「MS-09R リック・ドム」は、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」劇場版「機動戦士ガンダムⅡ 哀戦士」「機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙」に登場する量産MSである。「ドム」は、陸戦用の重MSで、一年戦争勃発間もない「ルウム戦役」において地球連邦軍のレビル將軍を捕虜とした「黒い三連星」ことガイア、マッシュ、オルテガらの特務部隊によって初めて実戦に投入された。U.C.0079年10月。グラナダ及びコロニーにおける陸戦トレーニングを終えた「黒い三連星」は、オデッサ作戦に備え地球に降下する。その際に与えられた機体がこの「ドム」であった。



CG Work by YUJI KONNO (Jam)



## MS-09R リック・ドム

「リック・ドム」は、陸戦用MSである「ドム」を宇宙用に改造した機体で、開発が難航していた高機動型ザクを下して空間用主力MSとして量産された。軍首脳は次期主力機と目される「MS-14 ゲルググ」までの「つなぎ」と考えていたとされているが、リック・ドムは改装機とは思えない適応と拡散を遂げた。一年戦争末期の公国軍宇宙戦力を支えていたのは質、量ともにリック・ドムであったと言っても過言ではない。

## MS-09R RICK-DOM

### リック・ドム REAR VIEW

### リアビュー



### ビーム・バズーカ



## MS-09R リック・ドム

ドムは、ホバー走行の実現と耐弾性向上のため「重MS」に分類されていたが、宇宙用への改装にあたっては、推進ユニットの換装のほか、背部パーニアやスカートの拡大など、わずかな設計変更が施されただけで、基本フレームにはほとんど手を加えることなく軍の要求値を達成した。ドムのベースデザインは、宇宙空間での運用においてその真価を発揮したのである。加えて、ドムを生産していたツィマツ社は、ジオン本国やグラナダの工廠を始めとする宇宙に多く生産拠点を保有しており、リック・ドムは、その生産ラインをほぼそのまま使えるというメリットもあった。「ビーム・バズーカ」は、リック・ドムが携行する武装の中で幻の兵器と呼ばれるもののひとつで、いくつかの部隊において試験的に運用されていたという記録も残っている。生産性が低くエネルギーチャージに時間がかかるなどの問題はあったものの、ジオン公国軍のムサイ級巡洋艦の主砲に匹敵する威力を持っており、地球連邦軍のMSが装備するビーム兵器よりも強力であったようだ。



**警告 (けいこく)**

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

**注意 (ちゅうい)**

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

**《組み立てる時の注意》**

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

・線画をするところ	・シールの番号	・テガールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・反対側に取り付けるパーツ	・向きに注意して取り付ける	・ヒスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・袋裏に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

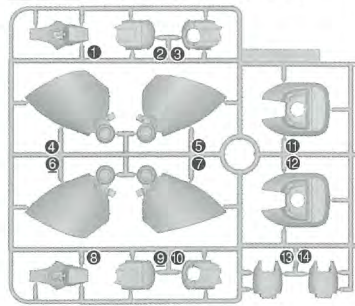
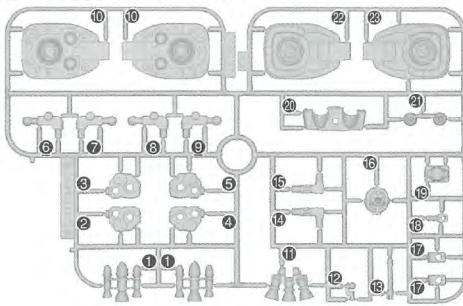
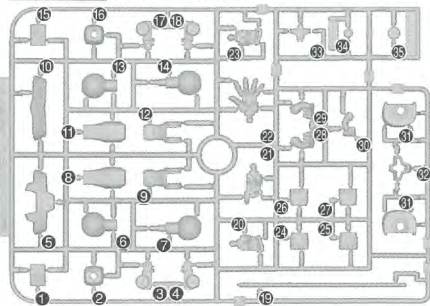
**パーツリスト**

(X印は使用しないパーツです。)

**Aパーツ** (スチロール樹脂: PS)

**Bパーツ** (スチロール樹脂: PS)

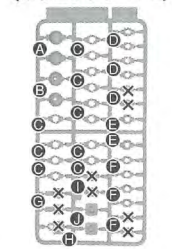
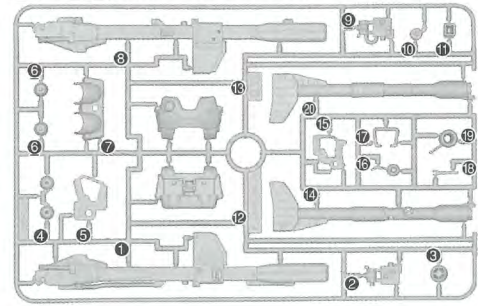
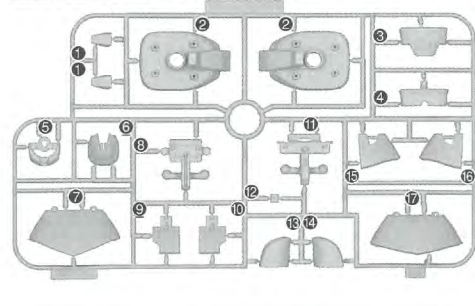
**Cパーツ** (スチロール樹脂: PS)



**Dパーツ** (スチロール樹脂: PS)

**Eパーツ** (スチロール樹脂: PS)

〈PC-116〉  
(ポリエチレン: PE)



●シール.....1

**※ドムとリック・ドムのどちらかを選択して組み立てる仕様です。**

**1** E13 PC0 B14  
PC0 B15 PC0

**2** (先に組む) 1 E12 PC0 B19  
※奥までしっかりと  
はめ込みます。

**3** 2 D3・D4  
1(ピン)

**4** **ドム** **リック・ドム**  
(選んで取り付ける) PCF B20 E4 E6 E7  
3 B21 (向さに注意) 3 (向さに注意)

**5** B12 (シール) B16

**6** A32 A33 D6 5

**8** A13 PC0 A14

**10** 8 A16 B17 A27 (選んで取り付ける) A22

**7** PC0 A6 A7 A2 B17 A9 (先に組む) PC0 A8 A3 A4 A9

**9** PC0 A17 A12 A11 A18 A17 (先に組む) PC0

**11** A31 D13(D14) x2 2個作る

**12** 6で作った頭部 D6 11で作った肩 7で作った右腕 4で作ったボディ 10で作った左腕

**13** x2 2個作る PCA C11(C12) D2

**14** 〈右足〉 13 B23

**15** 〈左足〉 13 B22

**リック・ドム**  
(選んで取り付ける)  
※リック・ドムの足首は、左右共通です。

B10



**16** B3 PC C B2  
  
 (後に組む) PC C B2  
 C9 C10

**17** 16 C14  
  
 (向きに注意) (後に組む) B1  
 B8 PC E B9

**19** C6 17 C7  
  
 PC C 18  
 (向きに注意) D1

**20** 19 C8  
  
 (向きに注意) D1

**35** 31 30 33 34 21 26  
  
 32 26  
 (向きに注意) D1

**36** 12 35

**21** 20  
  
 14 <右足>

**22** PC C B6  
  
 (後に組む) PC C B4  
 C2 C3

**23** 22 C13  
  
 (向きに注意) (後に組む) B1  
 B6 PC E B7

**24** B1  
  
 PC C 24

**25** 23 C4 C6  
  
 24 PC C

**37** E20 E16 E14 E19 E17  
  
 A34 E16  
 E18 (向きに注意) (シール)

**26** 25 C1 D1  
  
 15 <左足> (向きに注意) D1

**27** D11 PC C PC F D8  
  
 ※奥までしっかりと  
 はめ込みます。 D11  
 PC F D8

**28** 27 D12  
  
 (向きに注意) D12

**29** B11 PC D

**38** E1 E6 E8 E11 E10  
  
 E2-E9 A35 E3 (向きに注意) (シール)

**30** 28  
  
 ※ポリキャップを  
 押さえながら  
 はめ込んでください。 29 (向きに注意)

**31** A1 D9

**32** A16 D10

**33** A10 D7  
  
 リック・ドム (選んで取り付ける)

**34** A5 D16 D16

**39** A25 A21 A30 A21 A30  
  
 37 38  
 (選んで取り付ける) (向きに注意) B18